

## 第6回実行・代表委員会あいさつ

明けましておめでとうございます。今年一年、一人一人にとって良い年であることを願って昨年同様引き続きよろしく申し上げます。

年末年始にかけて、防災用のかまどベンチ設置（日ごろはベンチとして活用し、災害時にはかまどとして活用するものです。）のため、体育館前の花壇の整地と木々の移植、メタセコイヤの上部の伐採そして正門横の松の剪定と校内の木々を地域の方々やコーディネーターの方々の力で綺麗にしてもらい、新学期を迎えることができました。

今年は元旦から暖かい日が続き、穏やかな新春でしたが、今週に入り例年通りの寒い日が続き、冬本番を迎えています。気温の激しい変化に十分気をつけ、規則正しい生活をはじめ、うがい、換気、手洗いを励行し、風邪・インフルエンザ等にかからないようにしたいと思っています。

さて、昨年12月26日（土）、なら100年会館で実施された「なら教育の日」記念集会で、1年生蓮宗一郎君が「子どもたちが語る奈良の過去から未来」というテーマの下「奈良に生まれて」と題して、奈良の文化財を守り続けてきた人々の思いや未来に向けて受け継ぐことの大切さなどについて英語を交えて約400名の参加者に向かってプレゼンテーションしてくれました。（詳しくは本校ホームページをご覧ください。）人前で、自分の考えをしっかりと発表する力、プレゼンテーション力はこれからの社会では必要とされています。教科をはじめ、いろいろな場面でつけています。今後は、小学校と連携し充実していきたいと思えます。

始業式には、東日本大震災から今年で5年目を迎えるに当たり、大和郡山市で野球クラブ工房を運営されている海原伸宏さんが中心となり、「大仏クラブ」プロジェクトとして「中古のクラブを縫い合わせ、大仏の右手に合わせた高さ3.6mの巨大クラブを東大寺に奉納。そして、福島県いわき市で展示し、被災地の子どもたちを元気づけよう。」という取り組みを紹介するとともに、一人一人の力は小さいが、同じ思いで力を合わせると大きなことを達成できるし、大きな夢をつかむことができるという話をしました。（詳しくは学校だより「学びの庭」をご覧ください。）

3学期は3ヶ月と短い学期です。よく「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われるように、この3ヶ月は、あっという間に過ぎていきます。それぞれの学年、しめくくりをしっかりとしていきたいと思えますので、どうぞよろしく申し上げます。

現在の取組も含め、本校ホームページで詳しく紹介していますのでご覧ください。

平成28年1月14日

校長 北 保志